

## みえ福祉第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

株式会社三十三総研
-----------

### ②施設・事業所情報

名称：認定こども園 令のかぜ	種別：保育所
代表者氏名：森寺 宏行	定員（利用人数）：135名
所在地：三重県桑名市長島町東殿名 1023	
TEL：0594-84-7760	
ホームページ：https://www.apatheia.jp/facility/reinokaze	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：令和6年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 アパティア福祉会	
職員数	常勤職員：18名 非常勤職員：14名
専門職員	保育士：25名、管理栄養士1名、看護師：1名
施設・設備の概要	保育室4室、乳児室1室、ほふく室1室、一時保育室1室、遊戯室1室、調理室1室

### ③理念・基本方針

#### <理念>

- ・ こどもの気持ちに寄り添い、意欲や好奇心を引き出し、保護者からも信頼され、地域に愛されるこども園を目指す。

#### <方針>

- ・ 人の一生を支える大切な時期である乳幼児期に、遊びや生活を通して、心と体を育む。仲間とかかわりあうことで、思いやりや自制心を育み、ひとり一人の個を大切にすることで、「やりたい」「挑戦したい」という意欲を伸ばす。

### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・ 地域子育て支援センターそよかぜを併設している。平日の午前と午後で開催し、平均して1日7家族が利用している。毎月のイベントとして、週1回の制作の日、月1回の親子体操教室、親子ふれあいあそび、リトミック、身体測定を実施している。また、管理栄養士による食育相談、看護師による保健相談、ベテラン保育士による保育相談等を随時実施している。また、一時保育事業も随時実施している。

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年9月10日（契約日）～ 令和8年3月19日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	なし

## ⑥総評

桑名市長島町は、河川と海に囲まれた自然豊かな地域で、農業が盛んにおこなわれる一方、ナガシマリゾートを中心とした観光産業が盛んです。また、周辺の工業地帯へのアクセスも良好で、ベッドタウンとしての機能も併せ持っていることから、近年では転入者が増加しており、幼児数も増加傾向にあります。

当園では、子どもたちの興味・関心や個性を伸ばす活動として、タブレットを活用した学びの創造や、毎月2回のネイティブスピーカーによる英語教室を実施しています。そのほかにも、体操教室やおえかき教室、リトミック教室など、子どもたちの探求心や好奇心を刺激する様々なプログラムが充実しています。

### ◇特に評価の高い点

- 利用者家族へのアンケート結果では、子ども達が喜んで登園している様子や、表情豊かに活動している点などが特に高く評価されていました。
- 同じく利用者家族のアンケートにおいて、食事や衣服の着脱等、基本的な生活習慣を身に着けるための配慮や、体操やお絵描きといった表現活動の取り組みについて、多くの利用者が満足していました。
- 職員に対しては、グループウェアを活用した情報共有等、業務の効率化を進めることで、働きやすい職場環境作りに取り組んでいます。また、昇給・昇格に関する規定も詳細に定められており、職員のキャリアパスが明確化されています。

### ◇改善を求められる点

- 利用者家族へのアンケートでは、利用者同士の懇親機会や、意見・苦情のフィードバックについて、不十分だと感じている利用者が一定数存在しました。今後は、当園の保育方針をあらかじめ丁寧に説明するなど、利用者の理解を促す取り組みが求められます。
- 職員アンケートにおいて、意見が言える雰囲気や意見の反映に対する「はい」の回答が限定的でした。今後は、正規・非正規問わず、幅広く意見を収集し反映させる取組が期待されます。
- 地域との関わりについて、自己評価結果及びヒアリングの結果から、現在はほとんど実施されていないとのことでした。当園が新しい施設であることや、コロナ禍以降高齢者との関わりが減っていること、当地の地域性など様々な要因があるものの、当園の理念にも掲げられている「地域に愛されるこども園」を実現する上でも、地域と関わる機会を増やすことが望まれます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

二つの保育園が合併し、認定こども園令のかが2024年4月にできました。二年目という時期でしたが、第三者評価をいただくことで、この期間の振り返りと今後の方向性を見出す機会となりました。

まずは「楽しさがいっぱいある園」をめざして、いろいろな取り組みをしてきました。自家農園を中心とした「焼き芋会」「豚汁会」「日々の栄養指導」などの食育活動、子どもたちの興味・関心を伸ばす外部講師を招いての各種の教室、シャボン玉ショーなどを行ってきました。また、保育の質の向上及び充実を目指して、外部の専門家を招いての保育参観と指導及び協議を行いました。保護者の方からは「おおむね表情豊かに、いきいきと活動しているか」では、高い評価をいただきました。

その反面、防犯や保護者の懇親や意見交換での課題もいただきました。今後は貴重なご意見を参考に、より充実した方向で検討・実施を図った行きたいと考えています。

職員の方の課題としては、二つの園からの職員の関わりが不十分だったところがあっ

たように思われます。特に本園では、職員の勤務体制を重視しているため、全体職員会議や研修会がなかなか持てず、共通認識が不十分だったようです。また、正規と非常勤職員との時間の溝が埋められず、「わからない」という回答が多くありました。この点を十分に踏まえ、今後に向けて少しずつですが、改善の方策を探っていき、五年後の第三者評価に向けて、具体的な取り組みをしていきたいと考えます。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

# 評価細目の第三者評価結果 (保育所)

※すべての評価細目(48項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

### Ⅰ-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	(a) b・c
〈コメント〉 理念や基本方針は明文化されており、職員への行動規範となるよう職員室に掲示されているほか、ホームページや園の案内資料で利用者に周知する等、幅広く情報発信しています。	

### Ⅰ-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	(a) b・c
〈コメント〉 当園を運営する法人本部主導のもと、子どもと家庭を取り巻く環境の現状や課題等が分析され、年に複数回開催される理事会を通じ園長にも共有されています。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	(a) b・c
〈コメント〉 法人本部が行った現状分析をもとに、園長自らが経営課題を整理し、園の方針や計画を策定しており、職員会議を通じ各職員に周知が図られています。	

### Ⅰ-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a (b) c
〈コメント〉 当園を運営する法人本部が主導して、中期・長期の計画を策定しており、各種の目標や取組の方向等を明らかにしています。今後は、計画の実現を見据えた中・長期的な収支計画への関与が期待されます。	
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	(a) b・c
〈コメント〉 中・長期計画を踏まえて、単年度の事業計画が策定されています。また、事業計画は年度終了時に各クラス単位で見直しが行われています。	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a (b) c
〈コメント〉 単年度の事業計画のについて、職員会議やグループウェアを通じ全職員に周知されています。今後は、計画の策定や見直しの場面で幅広い職員が意見を出せる仕組みを構築し、職員がより身近なものとして理解できる取組が望まれます。	

I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ b・c
<コメント> 園のロビーでの掲示に加え、各家庭に配布する「重要事項説明書」や「行事計画」にて周知が図られています。	

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ b・c
<コメント> 園の各種取組については、職員会議等で内容の検討・評価を行い共有されています。また、外部からの指導を定期的実施し、保育内容について評価・見直しを行っています。	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a Ⓑ c
<コメント> 自己評価や外部からの指導を通じ、課題の把握に努めています。今後は課題の分析や改善に向けた内容を文書化し、全職員で共有のうえ改善を進めることで、更なる質の向上につなげてください。	

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ b・c
<コメント> 園長の役割は職務分掌規程にて文書化され、職員に配布されています。また、災害など有事の場合や、園長不在時の対応についても周知されています。	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ b・c
<コメント> 園長は、市役所や法人本部との情報共有を通じ、遵守すべき法令等の把握に努めています。また、その内容を会議やグループウェアの活用により全職員に周知しています。	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ b・c
<コメント> 園長自らが率先して、各種制度・規約の整備を進めています。また、定期的な外部講師の招へいや、事例検討等、保育の質の向上に繋がる各種施策を実施しています。	
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ b・c
<コメント> 理念、基本方針の実現に向け、園内研修に外部講師を招へいするなど、職員に対し幅広い知識を習得する機会を提供し、職員のレベルアップに向けた取組を積極的に実施しています。	

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉 採用や人事管理については、法人本部と連携しながら、必要な人材・人員体制を整えており、人員の配置に関する計画も策定されています。</p>		
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉 人事考課基準や目標管理が整備され、年に2度実施される人事考課を通じ、適切に評価されています。また、昇給・昇格のグレードも詳細に規定されており、職員のキャリアパスを明確化する取組がなされています。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。		a Ⓑ c
<p>〈コメント〉 自己申告に基づく勤務シフトの作成や、基本的に定時で仕事を終える体制作りなど、ワークライフバランスへの配慮が見受けられます。法人本部との関係上難しい部分もありますが、多くの職員が求めている休憩室の配備も今後の取組として期待されます。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉 年に2度の人事考課面談の中で目標の設定について話し合いがなされており、半年後にはその目標の達成状況について振り返りを行うことで、個々の職員のスキルアップを図っています。</p>		
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉 計画に基づき、キャリアアップ研修など各種研修が実施されています。また、勤務時間内に研修時間が用意されている点についても、職員から高い評価を受けていました。</p>		
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉 職員一人ひとりの役割や立場に合わせた研修の機会が確保されています。また、新人職員には先輩職員がマンツーマンで指導する「プリセプター制度」など、習熟度に配慮したOJTが適切に行われています。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		a Ⓑ c
<p>〈コメント〉 実習生の受入れに際し、あらかじめ保護者に通知するなど各種体制の整備が進められています。一方、実習指導に関する研修の受講は一部の職員にとどまっているため、各職員が積極的に受講する働きかけが期待されます。</p>		

## II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉                      保育園の事業や財務等に関する情報については、法人本部の所管で適切に公表されています。また、園のホームページを通じ、理念や方針、保育の内容などが公開されています。</p>		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉                      保育園における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限が明確にされており、定期的な監査が行われています。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との交流が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		a Ⓑ c
<p>〈コメント〉                      併設する子育て支援センターでは、地域の子育て世帯の交流会場として様々な活動がなされています。一方、園児と地域との交流について、芋ほりなど地元農家との交流や、地域のボランティアによる絵本の読み聞かせなど、幅広い活動が今後期待されます。</p>		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉                      職場体験等のボランティアの受入れにおいては、園の規定や桑名市の規定に沿って適切に体制が整備されています。また、受入れの際には、アプリを通じ事前に保護者に通知されています。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		a Ⓑ c
<p>〈コメント〉                      桑名市の関係各課や病院、保健所など、関係機関との連携が適切に行われています。今後は、それら関係機関の情報や連絡先、担当者を必要に応じ職員が活用できるよう、一覧表の掲示など積極的に周知することが求められます。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉                      併設する地域子育て支援センターでは、ヨガやリトミックなどの特別活動を積極的に実施し、地域の子育て世帯が参加できる多様な機会を提供しています。また、身体測定や食に関する相談にも柔軟に対応しています。</p>		
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。		Ⓐ b・c
<p>〈コメント〉                      併設する地域子育て支援センターの取組を通じて家庭に対する支援を行っているおり、法人全体としても、地域社会の課題解決に向けた様々な事業を展開しています。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	○ a b・c
<p>〈コメント〉</p> 年齢毎に年間指導案を策定し共通理解を促しているほか、事例検討会の開催を通じ職員同士で意見交換を行っています。		
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a ○ b c
<p>〈コメント〉</p> 子どものプライバシー保護・虐待防止等の権利擁護については、園内会議等で周知・徹底が図られています。今後は様々な場面や事例における対応ルールを取り決めるなど、全職員がプライバシーの保護を順守するための一層の体制強化が期待されます。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	○ a b・c
<p>〈コメント〉</p> 随時、園の見学や個別相談に対応しているほか、定期的にホームページやSNSを更新することにより、最新の保育内容等を発信しています。		
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	○ a b・c
<p>〈コメント〉</p> 入園の際は「園案内」や法人のパンフレットを配布して説明を行っています。また、保育内容の変更にあたりは、園の掲示やアプリの情報発信により周知しています。		
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	○ a b・c
<p>〈コメント〉</p> 市内での保育所等の変更にあたりは、児童票を用いて適切に引継ぎが行われています。また、その他変更の際しても園で共有を図り継続性に配慮しています。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	○ a b・c
<p>〈コメント〉</p> 英語教室や体操教室など様々な活動を通じ利用者の満足度向上に向け取り組んでいます。また、送迎時のコミュニケーションや個人懇談会の中で利用者満足の把握に努めています。今後は、園独自のアンケートを定期的実施するなど、園全体で組織的に満足度を把握するための仕組み作りが求められます。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	○ a b・c
<p>〈コメント〉</p> 苦情解決の体制が整備されており、園長、主任を中心に適切な対応ができるよう職員間で周知されています。		
Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a ○ b c
<p>〈コメント〉</p> 個別面談や日々のコミュニケーションにより保護者が相談や意見を述べやすい環境整備に努めており、施設内には相談室が設けられるなど環境も整備されています。今後は、相談窓口の設置や案内のほか、専門的な内容や担当職員以外への相談方法の周知など、様々な相談に対応できるような体制作りが望まれます。		

Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 保護者からの相談や意見に対しては、園長を中心に組織的に対応しており、会議で共有する等迅速に対応しています。今後は、対応記録やマニュアルの整備とともに、定期的にそれらを評価、見直しする仕組み作りが期待されます。</p>	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 危険防止に向け、ヒヤリハットの記録及び共有が十分に行われています。今後は、それらの記録や経過を再確認する機会を定期的に設けることや、対応マニュアルの整備を通じ、リスクマネジメント体制の更なる強化が求められます。</p>	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 感染症対策のマニュアルが整備され、看護師の指揮のもと、流行している感染症の種類に応じ各職員が適切に対応できる体制が整えられています。</p>	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 日々の避難訓練に加え、BCPやマニュアルを整備しているほか、外部の専門機関からの意見も取り入れることで、万全の対策を進めています。</p>	

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 年間指導計画や、園独自のランドデザインが策定され、各職員に配布されています。また、これらの計画をもとに月案が作成され、定期的な評価・見直しが行われています。</p>	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 標準的な実施方法の見直しについては、クラス単位でまとめたものを年間指導計画に反映しています。</p>	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 子どもの発達や状況を踏まえた指導計画が策定されています。今後は、担当者の経験によって計画内容にバラつきが生じないように、策定の手順や様式の周知、計画の策定・実施・評価・見直しのプロセスの明確化が求められます。</p>	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; グループウェアを活用し、指導計画は全職員が随時評価・見直しを行える体制が整えられています。</p>	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	Ⓐ b・c
<コメント> 子どもに関する保育の実施状況は、グループウェアにより職員に共有化され、園内であればいつでも確認できるよう工夫されています。		
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ b・c
<コメント> 記録の管理方法については、職員に周知・徹底されています。また、個人情報を含む記録については、施錠式の書庫で保管されています。		

## 評価対象Ⅳ 三重県独自基準

### Ⅳ-1 地域項目

		第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。		
Ⅳ-1-①	子育て経験者との連携がとれている。	a・b Ⓒ
<コメント> 開設から2年目の施設であり、これまでに子育て経験者を交えたイベントは実施されていない状況です。今後、子育て経験者との連携の機会を確保されることが期待されます。		
Ⅳ-1-②	子どもの安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	Ⓐ b・c
<コメント> 地元の警察や消防と連携した交通安全教室や防犯教室の受講など、地域との相互協力のもと安全確保に努めています。		
Ⅳ-1-③	地域の環境保護に貢献している。	Ⓐ b・c
<コメント> 園庭の一角に畑を作り、野菜作りを一緒に行っています。また、樹木の植栽や花壇活動を通じ、子どもの環境保護への関心を高めています。		